

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年3月23日

計画の名称	自然環境と調和した暮らしのできる山口市の実現（重点計画）										重点配分対象の該当	○						
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）					交付対象	山口市											
計画の目標	下水道整備を行い、快適で衛生的な生活環境を形成し、自然と調和した暮らしのできるまちの実現を図る。																	
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を64.6%（H30）から65.6%（H31）に増加。																	
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考					
											当初現況値 （H30当初）	中間目標値 —		最終目標値 （H31末）				
	①下水道処理人口普及率 =（下水道を利用できる人口（人））／（総人口（人））										64.6%	—	65.6%					
全体事業費	合計 （A+B+C+D）		3,593百万円	A	3,593百万円	B	—	C	—	D	—	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C+D）	0.0%					
交付対象事業																		
A1 山口処理区																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31						
A1 山口処理区																		
A07-001	下水道	一般	山口市	直接	山口市	汚水	新設	汚水幹線整備事業（矢田汚水幹線）	汚水幹線：L=0.7km	山口市					400	—	—	①
A07-002	下水道	一般	山口市	直接	山口市	汚水	新設	汚水枝線整備事業（山口処理区）	汚水枝線：80ha	山口市					880	—	—	①
A07-003	下水道	一般	山口市	直接	山口市	汚水	増設	中継ポンプ場整備事業（大内中継ポンプ場）	ポンプ場：主ポンプ設備	山口市					25	—	—	①
A07-004	下水道	一般	山口市	直接	山口市	全種	全種	汚水幹線・枝線・ポンプ場整備事業（山口処理区）	調査・詳細設計等	山口市					90	—	—	①
A07-005	下水道	一般	山口市	直接	山口市	水セ	増設	処理場整備事業（山口浄化センター）	水処理施設：汚水ポンプ（No.4）、水処理（No.11）、プロワ（No.6,7）、脱臭（No.11）等	山口市					856	—	—	①
A07-006	下水道	一般	山口市	直接	山口市	全種	全種	処理場整備事業（山口浄化センター）	調査・詳細設計等	山口市					45	—	—	①
A3 川西処理区																		
A07-007	下水道	一般	山口市	直接	山口市	汚水	新設	汚水幹線整備事業（江崎深溝汚水幹線、江崎汚水幹線）	汚水幹線：L=4.6km	山口市					440	—	—	①
A07-008	下水道	一般	山口市	直接	山口市	汚水	新設	汚水枝線整備事業（川西処理区）	汚水枝線：75ha	山口市					680	—	—	①
A07-009	下水道	一般	山口市	直接	山口市	全種	全種	汚水幹線・枝線整備事業（川西処理区）	調査・詳細設計等	山口市					47	—	—	①
A07-010	下水道	一般	山口市	直接	山口市	水セ	増設	処理場整備事業（川西浄化センター）	建設工事：OD槽、終沈、場内整備等	山口市					110	—	—	①
A07-011	下水道	一般	山口市	直接	山口市	全種	全種	処理場整備事業（川西浄化センター）	調査・詳細設計等	山口市					20	—	—	①
												合計	3,593					
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考			
										H30	H31							
												合計						

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

平成30年3月23日

計画の名称	自然環境と調和した暮らしのできる山口市の実現（重点計画）				重点配分対象の該当	○									
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）		交付対象	山口市											
計画の目標	下水道整備を行い、快適で衛生的な生活環境を形成し、自然と調和した暮らしのできるまちの実現を図る。														
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
										H30	H31				
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
									H30	H31				
合計														
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考		

交付金の執行状況

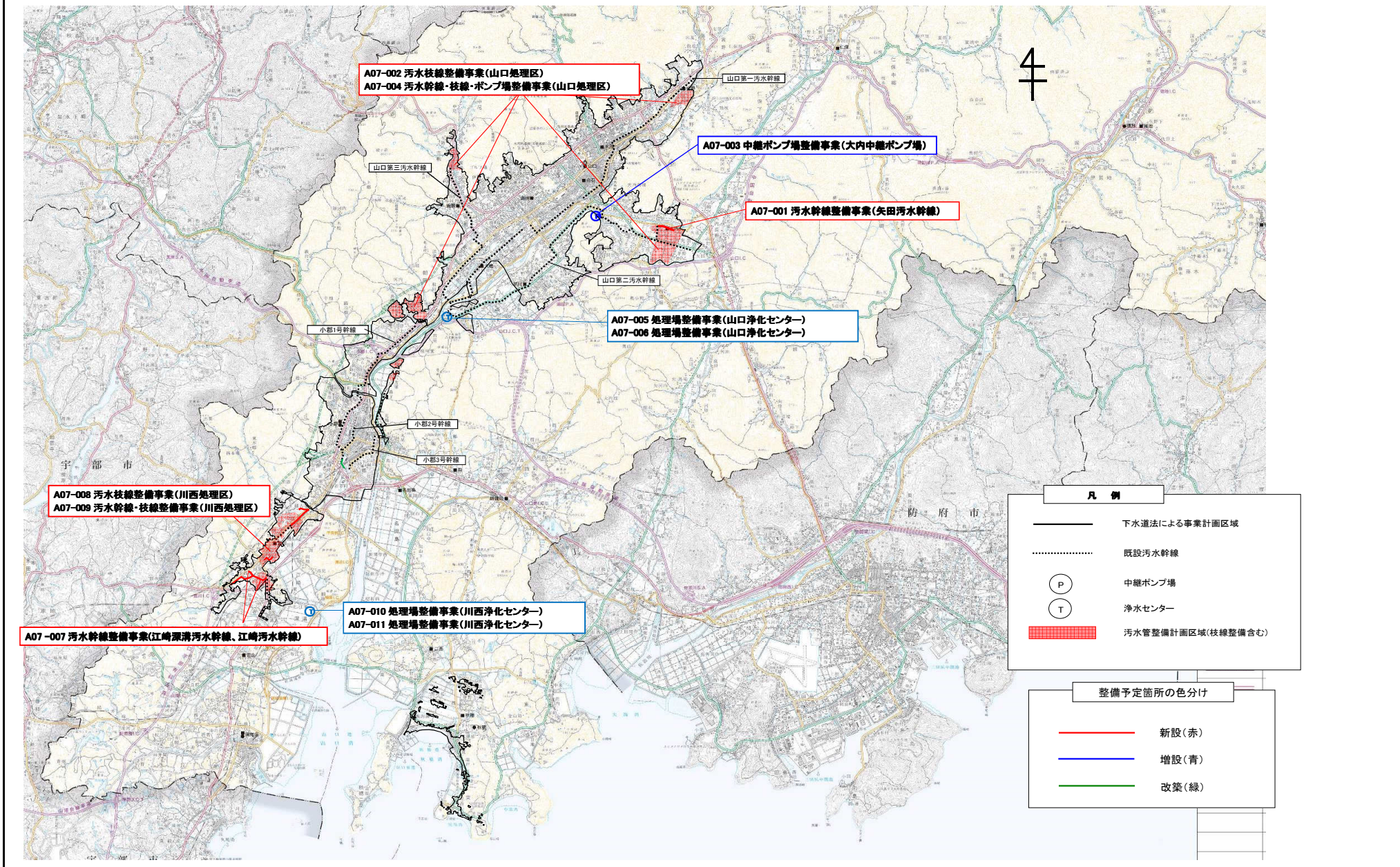
（単位：百万円）

	H30	H31			
配分額 (a)	643	212			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	643	212			
前年度からの繰越額 (d)	0	314			
支払済額 (e)	329	441			
翌年度繰越額 (f)	314	85			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	-	-			

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	自然環境と調和した暮らしのできる山口市の実現（重点計画）	交付対象	山口市
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）		



社会資本整備総合交付金チェックシート

(下水道事業)

整備計画の名称: 自然環境と調和した暮らしのできる山口市の実現(重点計画) 事業主体名: 山口市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①計画の目標が上位計画等と適合している。	○
②地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
③関連する各種事業制度の計画等と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④指標・数値目標の根拠が整理されている。	○
⑤十分な事業効果が確認されている。	○
⑥効果促進事業は目標達成に資する内容である。	-
III. 計画の実現可能性	
①全体事業費・要素事業の額が適切である。	○
②関連する機関との調整が図られている。	○
③交付期間中の計画管理(モニタリング・中間評価)を実施する予定である。	-